

ずし市議会だより

2023年◆9月1日

165号



美しい雲が広がった、9月初めの小坪飯島公園（逗子フォトより）

主な項目



第2回定例会（6月9日～23日）

- | | |
|----------------------|----------|
| ● 議案の審議結果 | 2ページ |
| ● 一般質問（14人登壇） | 5…11ページ |
| ● 令和4年度議長交際費・政務活動費報告 | 12ページ |
| ● 今定例会で可決した意見書 | 13…14ページ |

第2回定例会（6月9日～23日）

一般会計補正予算など13議案を可決

生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する事務委託ほか1件は閉会中継続審査へ

今定例会の概要

令和5年市議会第2回定例会は、6月9日から23日までの15日間の会期で開会しました。この定例会では、工事請負契約の締結、葉山町と逗子市との生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する事務委託に係る協議のほか、池子3丁目地内の緑地法面防護工事、沼間3丁目地内の緑地法面仮復旧及び法面保護工事に要する経費として緑地安全対策事業などの増額等を内容とする一般会計補正予算（第3号）など市長提出の15議案のほか、人権擁護委員の推薦についての諮問1件、陳情5件の審議が行われ、審議の結果、議案13件を原案どおり承認・可決・同意し、2件を閉会中継続審査、諮問は異議ない旨答申、陳情3件を了承、2件を不承としました。また、6月21日、22日、23日の3日間、市政一般について14人の議員が一般質問を行いました。このほか、議員発議による意見書案3件を可決し、閉会しました。

議案の審議結果

▼専決処分の承認について…

承認（全員賛成）

令和5年度逗子市一般会計補正予算（第2号）は、物価高騰等による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対して、一世帯当たり3万円を支給する経費として住民税非課税世帯等に対する、生活支援金支給事業等2億5,515万5,000円を計上し、これに見合う歳入は国庫支出金等を増額して措置するもので、これにより予算の総額は224億2

▼専決処分の承認について…

承認（全員賛成）

令和5年度逗子市下水道事業会計補正予算（第1号）は、浄水管理センターに設置されている水処理無停電電源装置の故障により、出水期前に仮設工事を行ったうえで無停電電源装置更新工事を実施するための経費として、処理場建設改良費3818万1,000円を増額し、これに見合う収入は地方債をもって措置するもので、これにより資本的収入は10億1,061万9,000円、資本的支出は12億9

471万8,000円となります。

453万9,000円となります。

▼工事請負契約の締結について…原案可決（賛成多数）

沼間小学校区放課後児童クラブ建設工事について、東急建設株式会社と契約金額2億9,810万円で工事請負契約を締結するに当たり、議会の承認を求めたものです。

▼訴訟上の和解について…原案可決（賛成多数）

東京高等裁判所令和4年（ネ）第1124号土地明渡、費用償還等反訴請求控訴事件について、東京高等裁判所より事案の早期解決の観点から、職権による強い和解勧告がな

されたことを勘案し、和解を成立させることについて議会の議決を求めるため、地方自治法の規定に基づき提案されたものです。

▼逗子市印鑑条例の一部改正について…原案可決（賛成多数）

電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の改正に伴い、個人番号カードに記録されている利用者証明用電子証明書及び署名用電子証明書がスマートフォンへ搭載可能となるに当たり、改正の必要があるため提案されたものです。

▼逗子市職員の特殊勤務手当に関する条例及び逗子市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について…原案可決（賛成多数）

新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための感染症防疫作業手当の運用の特例を廃止するに当たり、改正の必要があるため提案されたものです。

▼逗子市市税条例の一部改正について…原案可決（全員賛成）

地方税法施行規則等の一部

を改正する省令の施行に伴い、現行の原動機付自転車から区別して新たに定義される特定小型原動機付自転車（電動キックボード）に係る軽自動車税の種別割の税率を定めるに当たり、改正の必要があるため提案されたものです。

▼逗子市火災予防条例の一部改正について：原案可決（全員賛成）

消防法施行規則及び対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令の公布に伴い、急速充電設備の基準について、

火災予防上必要な措置を定めるとともに、健康増進法の規定に基づく、喫煙所等の制限に係る基準の統一化について、改正の必要があるため提案されたものです。

▼令和5年度逗子市一般会計補正予算（第3号）：原案可決（全員賛成）

今回の補正は、池子3丁目地内の緑地法面防護工事、沼間3丁目地内の緑地法面修復旧及び法面保護工事に要する経費として緑地安全対策事業1億8647万2000円、

電気代・ガス代等の高騰による高齢者福祉サービスを提供する事業者の負担を軽減するための支援金を交付する経費として物価高騰等対策高齢者福祉サービス等支援金給付事業1265万円を増額するなど、歳出の合計は2億8688万6000円の増額となり、これに見合う歳入は国庫補助金等の財源で措置するもので、これにより予算の総額は227億1160万4000円となります。

▼令和5年度逗子市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）：原案可決（全員賛成）

今回の補正は、長寿社会づくりソフト事業費交付金を活用し、「てくてく逗子」においてスマートフォンアプリを活用するための説明会の実施に要する経費及び認知症予防に効果的なeスポーツを活用した実証実験等に要する経費として一般介護予防事業100万1000円を計上し、これに見合う歳入は繰入金のほか所要の財源を措置するもので、これにより予算の総額は67億4480万1000円となります。

人事案件

▼教育委員会委員の任命について：同意可決（全員賛成）

氏名 若林 順子氏〔再任〕
任期 4年

▼情報公開審査委員の委嘱について：同意可決（全員賛成）

氏名 山辺 直義氏〔新任〕
任期 3年

▼個人情報保護委員の委嘱について：同意可決（全員賛成）

氏名 山辺 直義氏〔新任〕
任期 3年

▼人権擁護委員の推薦について：異議ない旨答申（全員賛成）

氏名 大久保尚哉氏〔再任〕
任期 3年

報告事項

▼予算の繰越しについて（繰越明許費）

令和4年度逗子市一般会計予算のうち、繰越明許費の設定をした電子計算システム管理事業ほか3事業について令和5年度に予算を繰り越したため、報告されたものです。
▼土地開発公社の経営状況の

報告について

土地開発公社における令和4年度の決算並びに令和5年度事業計画・予算及び資金計画について、報告されたものです。

▼一般財団法人逗子市渡邊利三奨学金財団の経営状況の報告について

一般財団法人逗子市渡邊利三奨学金財団の2022年度事業報告及び2023年度事業計画について、報告されたものです。

提出された陳情の要旨・審査結果

▼障がい者の通所における送迎費用に関する陳情

根本祥子さんから提出されたもので、市の財政状況を鑑み、障がいのある本人同様、送迎介助者分の交通費の実費を市費で負担することを切望する、というものです。

この陳情は、教育民生常任委員会に付託。審査の結果、全員賛成で了承されました。

▼議員活動に関する陳情

松本直枝さんから提出されたもので、選挙期間中でないにもかかわらず非常に頻繁に市内で旗を掲げて議会報告や

市政相談をしている議員がいるが、良識ある活動を切望する、というものです。

この陳情は、議会運営委員会に付託。審査の結果、全員賛成で了承されました。

▼教職員定数改善の推進および教育予算の拡充を求める2024年度政府予算についての陳情

三浦半島地区教職員組合執行委員長 中澤謙介さんから提出されたもので、次の事項が実現されるよう、国の関係機関に対して意見書を提出することを切望する、というものです。1 小学校同様、中学校においても35人以下学級を早急に実施すること。2 35人以下学級、小学校高学年教科担任制の実施に当たっては、既に配当されている加配定数を堅持した上で、教職員定数を増員し対応すること。

3 学校施設整備費、教材費、図書費、旅費など教育予算充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

この陳情は、教育民生常任委員会に付託。審査の結果、賛成多数で了承されました。

▼消費税インボイス制度の実施延期を求める陳情

市議会第2回定例会日程概要

6月6日 議会運営委員会（議事日程等協議）

9日 本会議（第1日）会期を6月23日までの15日間と決定、一部議案の採決、議案等委員会付託
議会運営委員会（陳情の審査・採決）

12日 教育民生常任委員会（議案・陳情の審査・採決）

13日 総務常任委員会（議案・陳情の審査・採決）

14日 基地対策特別委員会（調査）

20日 議会運営委員会（追加案件協議）

21日 本会議（第2日）議案の委員長報告・採決、陳情審査の結果報告、一般質問

22日 本会議（第3日）一般質問

23日 本会議（第4日）一般質問、追加議案等の採決、意見書案の採決、結論が出なかった議案の閉会中継続審査了承

神奈川土建 一般労働組合 鎌倉逗子葉山支部執行委員長 菅原智和さんから提出されたもので、消費税のインボイス制度の実施を延期するよう求める意見書を政府に提出することを切望する、というものです。

この陳情は、総務常任委員会に付託。審査の結果、賛成少数で不承となりました。

▼消費税インボイス制度の実施延期を求める陳情
横須賀民主商工会会長 富塚昇さんから提出されたもので、消費税のインボイス制度

の実施を延期するよう求める意見書を政府に提出することを切望する、というものです。

この陳情は、総務常任委員会に付託。審査の結果、賛成少数で不承となりました。

今定例会で結論が出なかった議案

次の議案は、今定例会で結論が出なかったため、閉会中継続審査となりました。

総務常任委員会
▼葉山町と逗子市との生ごみ資源化処理施設の整備運営

に関する事務委託に係る協議について

鎌倉市及び葉山町との生ごみ処理の広域連携に係る覚書に基づき、葉山町に設置予定の施設で逗子市の生ごみ資源化の共同処理を実施するに当たり、地方自治法に基づく事務委託をするため、提案されたものです。

▼逗子市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部改正について

逗子市、鎌倉市及び葉山町の2市1町における生ごみ処理広域連携の一環として、葉山町に設置予定の施設で逗子市の生ごみ資源化の共同処理を実施することに伴い、生ごみの処理に係る指定収集袋及び手数料の規定を定めるに当たり、改正する必要があるため提案されたものです。



市議会ホームページのご案内

市民の皆さんに本市議会の情報をお伝えするため、ホームページでさまざまな情報を掲載しています。ずし市議会だよりと合わせて是非ご覧ください。

掲載している主な項目をご紹介します。

【お知らせ】
次回の議会開催予定等ははこちらをご覧ください。

【市議会議員名簿・会派役職】
議員の50音順・顔写真入り名簿をはじめ各種名簿がご覧になれます。

各議員の役職や連絡先等も

ご覧になれます。

【会議日程】
開催中や過去の定例会及び臨時会の各種情報（日程、質問項目等）がご覧になれます。

【議会だより】
最新号やバックナンバーも閲覧できます。

【傍聴、請願・陳情】
議会傍聴のご案内、請願・陳情の記載・提出方法を掲載しています。

【本会議インターネット中継】
本会議のライブ中継や録画映像がご覧になれます。

【会議録検索】
昭和58年以降の本会議録及び各委員会記録が検索できます。

このほかに、議長交際費、政務活動費などの状況も掲載しています。



ユニバーサル社会づくりへ
更なる推進

公明党逗子市議団 江渚 真紀子 議員



音声コードの活用・普及について

問 視覚障害のある人だけでなく、小さな文字の読みづらい高齢者、日本語を読めない外国人等のために、市からの重要な文書やその封筒に音声コードの印刷を普及していくことはできないか。

市長 音声コードの活用は、一部の計画にSPコードを印刷することにとどまっており、市が交付する書類や封筒に音声コードを印刷することは現在検討していない。情報の得やすさ、アクセシビリティのしやすさは大変重要なこと

なので調査・研究をして
いきたい。

駅のバリアフリーについて

問 京急逗子・葉山駅北口、市役所側は上りのエスカレーターのみで、下りに対しては階段のみとなっている。以前よりこの問題は取り上げられていたが、なかなか現状が変わらない。京急電鉄との話し合いの進展を伺う。

環境都市部担当部長 京

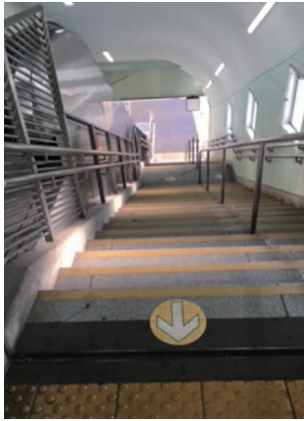
ていきたいという意向を
確認している。今後とも

自殺予防対策・ゲートキーパーの養成

問 市として、ゲートキ
ーパー養成などの自殺対
策について、どのように
考えているか。

市長 誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、自殺対策を市全体の課題と捉えており、庁内、関係機関とも連携しながら、包括的な支援に取り組んでいる。今年度も、ゲートキーパ

―養成講座のほかに、自殺対策講演会や啓発のキャンペーンなども予定している。庁内においては、部課長会議での自殺対策に関する情報共有、また今年度からは担当者会議を開催するなど新たな取り組みを進めていく。



逗子・葉山駅北口の階段

安心安全なまちづくりのための
一歩

市政クラブ 服部 誠 議員



風水害等早期避難所
について

問 早めの避難所の開設
決定と周知ができないか。
経営企画部担当部長 住
民が自主的に避難するこ
とを妨げることがあつて
はならず、受入れ体制を
早期に整えたい。ただ、
学校は授業等の関係があ

り事前調整が必要で、早期に対応することが難しい。今後は全避難所を一斉に開設することに固執することなく、環境が整っている施設から順次開設していくなど、工夫して柔軟な対応をしていきたい。また、避難所開設

時の広報手段として、市民から情報ツールの活用について指摘があり、現在、LINEやツイッターなどで情報を発信していく準備を進めている。

食品ロスについて

賞味期限切れが近い

備蓄食料について、フリーバンクへの提供は考えが
適切な方法を選ぶことができる状況が望ましい。

食品ロスを減らしていくことは大きな課題と認識

している。現在、フードバンクかながわと市から食品を提供していくといったことに向けて、検討を進めている。

市役所窓口での情報
支援体制について

問 今後の更なる高齢化
の進展もあり、市民生活
に直結する市役所の窓口
における情報支援は一層

大切になってくる。窓口の情報支援体制の今後の方針について伺う。

市長 ハンディキャップのある方との円滑なコミュニケーションを行える仕組みは重要であり、手話通訳、筆談など、その方、その場に応じて、よ



6月2日に開設された
風水害等早期避難所

※この他に、市イベントの一層のインクルーシブ化についての質問がありました。

一般質問の要旨



逗子市同様のガバナンスを 関係団体にもすべき

無会派 平野 和之 議員

基金の運用先に商品 先物が含まれている

問 奨学金財団の投資内容にガバナンスが欠如していると思われるものがあるが、見解を伺う。

市長 これまでの資産運用については、財団設立後間もないということもあり、財団の特別顧問のご意見を参考にしながら、理事会が方針等を決定するという形で進めてきた。より適切な運用に努めていく必要はあると考えており、資産運用に関する委員会の設置の検討や資産管理規則等の見直しなど、今後も安全で安定した運営を継続できるように、理事会とも話をしていきたい。

逗子セレクションの アクセス実質皆無？

問 逗子の暮らしのセレクションは市から商工会に拠出されている補助金

の一部がこの事業に充当

されていると聞いている。今までの効果とアクセス数について伺う。

市民協働部長 元々はふるさと納税の返礼品を考えていく中、特産品等が少なく本市において、商業者等が知恵を絞って、商品を考え、発信していく取組で、その意味では、効果としては、平成30年に122件の返礼品が、令和4年には323件になった。ここまで増やすことができたことは、大きな貢献だと評価している。また、アクセス数を把握できるのは令和2年のホームページのリニューアル以降になるが令和3年が558件、令和4年が1388件になる。

イベントにおける出 店・管理ルールを

問 コロナ禍により飲食店の経営環境は非常に厳

しい状況にある。イベントの出店について、飲食に関しては民業圧迫とならないよう店舗等を持っている人や起業を考えている人を優先するルールづくりが必要ではないか。

市民協働部長 イベントの出店については、どちらかといえば、イベントの主催者がイベントの目的や趣旨を勘案して、自由に出店者を決めるということが前提になると考えている。



逗子の暮らしセレクション
アクセス数の増加を!!



台湾との教育交流推進し 子育て世代に選ばれる逗子を

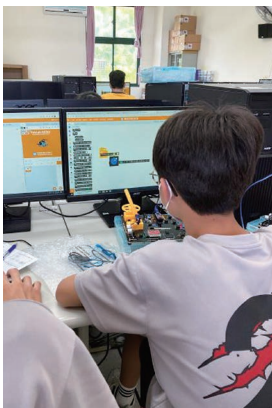
無会派 加藤 秀子 議員

姉妹校締結し最先端 STEAM教育を学ぶ機会を

問 教育交流は、異文化理解や自国の文化への理解とコミュニケーション能力が向上し、学習への意欲向上へとつながる契機になり、将来、国内外で活躍できる人材育成へ寄与することが期待される。子育て世代から選ば

れる自治体となるために台湾との教育交流を行う考えはないのか。

市長 次世代の子供たちが世界に通用する人材として、幅広い視野とスキルを身につけていく機会の提供は重要だと考えて



最先端STEAM教育を実施している台湾の市立中学校

いる。まずは池子米軍家族住宅があることを活かし、交流を深めていきたい。様々な機会や年代での交流ができるよう米軍と調整していく。

電子図書館導入し障 がい者も読書可能に

問 電子図書館については県内17自治体が導入済だが、市民サービス向上の観点からも電子図書館を導入してはどうか。

教育長 電子図書館は、インターネットを介し電子書籍を貸出し・返却・予約できるサービスで、パソコンやタブレット等

を使い、24時間365日の利用が可能になる。県内の自治体でも導入が進んでおり、本市においても効果的な導入と

するために、利用が

用者のニーズ等の情報収集を行うなど、検討を進める必要があると考えている。

はげ山の安全対策 工事を県に求めよ!

問 当該区域は、一部、土砂災害特別警戒区域

(レッドゾーン)にかかっており、近隣住民から土砂災害の懸念の声があがっている。この安全対策は誰が実施していくのか。

市長 最終的に県がどのような形で売却を行うかは現時点では分からないが、現状のまま売却するというのであれば、取得した民間事業者の責任において必要な安全対策を施していくものであろうと考えている。

※この他に、協働事業提案制度、自営型アレーワーク推進事業についての質問がありました。



市政は市民の大切な命を守る ことが一番重要な役目である

無党派 佐藤 恵子 議員

危険な道路は近隣住民が 一番知っている

問 市内にある危険な道路が通学路である場合、児童が巻き込まれて犠牲者が出てしまうかもしれないと、近隣の方も、以前から声を上げている。

設置基準に合うようであればカーブミラーを設置するなどやり方があると思うが、見解を伺う。

環境都市部担当部長 指摘のあった交差点は従来よりカーブミラー設置の要望をいただいているため、注視している箇所である。ドライバーへの周知徹底や自治会・町内会を中心にチラシを配布し危険を周知することなどを視野に入れ、今後取り組んでいきたい。

自然災害の防災対策 は常に更新すべき!!

問 6月2日の大雨においては避難所を開設して

警戒に当たったと聞いているが、このときの対応について、反省面も含め見解を伺う。

市長 市内の計6か所の施設を避難所として開設した。反省点としては、開設情報の周知において複数の住民から周知不足との指摘があったため、今後は更なる情報ツールの導入に向け、検討していきたい。

花火大会での安全 対策を徹底すべき!

問 前回より警備費を多く予算化していることから、来訪者が多くなると想定したことが推測できるが、私が利用した出口は人があふれ、誘導の声などが聞こえなかった。将棋倒しになってしまったのではないかと危惧もしたが、このときの警備はどのように行ったのか。市民協働部長 帰りの時



4年ぶりの逗子海岸
花火大会が大盛況!!

問 常時は、一気に来訪者が狭い通路になだれ込み、事故が発生する恐れがあったため退場規制を行ったが、このアナウンスが多くの方に届いておらず後ろの方が押されてしまったような状況になったと聞いている。

※この他に、空き家、空き地の利活用、ふるさと納税、市役所内の設備についての質問がありました。



市民と作る防災のまちを めざす

自民党逗子市議団 眞下 政次 議員

防災に係るそれぞれの 組織の役割分担は

問 本市の中心である逗子小学校区には住民自治協議会がないため、小学校区にこだわらずに組織を運営したかどうか。また、同協議会のもとに自治会・町内会があるが、加入率は地域ごとにばらつきがあるため、転入者に対し、加入を促すよう積極的にPRしてもらいたいがいかがか。

市民協働部長 自治会・町内会に声をかけながら住民自治協議会が小学校区単位でなくても立ち上がるよう努力していきたい。また、転入された方がいる場合などは町内会長などが行っていると聞いているが、市からの発信ということではまだ足りないと思うている。

防災倉庫の管理運営 住民任せで良いのか

問 自主防災組織では防災倉庫を設けているが、その中に何が入っているのかなどを住民が知らないこともあった。いざというときに機能するよう、役員が高齢化した際の引継ぎや指導監督などはどのように取り組んでいくのか。

市長 自分たちのまちは自分で守るという自覚と連帯感において、共助の取組を継続・強化していくてもらいたい。特に、要介護高齢者や避難行動要支援者を支えていく支援実施者として、避難行動要支援に係る共助の向上に、一緒に取り組んでいきたい。



流鏝馬の復活を求む

※この他に、イノシシ対策についての質問がありました。

一般質問の要旨



市は小坪県有地「はげ山」の自然を守る姿勢を見せよ！

自民党逗子市議員 八木野 太郎 議員

市は「はげ山」買収の意志は有るのか？

問 はげ山は、逗子市民全員、特に小坪周辺の住民にとっては財産だと思う。住民感情を考えれば借りない、買わないと言っている場合ではない。はげ山の自然は何として守り抜くと市長に言ってもらえないか。

市長 県が地域住民に説明会を開く予定になっていると聞いているが、県が所有するなど長年の経緯があった中で進んでいるため、県の考え方をしっかりと見極めた上で最終判断をしたい。

市民のごみ排出削減努力を無駄にするな
問 葉山町との生ごみ共同処理の施設建設費は、これまで処理量案分で進めていたが、急に人口案分となった。キエーロ等これまでの生ごみ排出削

減努力が無駄になると考えるが、葉山町に比べ一人当たり6割の生ごみしか出さない逗子市民に報いるべきではないか。

環境都市部長 全てを人口割にするのではなく、ランニングコストや維持費などは処理量割という考えを維持している。

市長 最初に施設をつくる費用は人口割、その後の運用は処理量割で進めるといいうすっきりした考え方のもと、スタートしている」と理解している。

子育て世代の電動自転車購入に補助金を！

問 本市は道路が狭く急坂であるため、電動アシスト自転車は、未就学児のいる家庭には有効な手段だと考える。子育てするなら逗子の実現において、電動アシスト自転車の購入補助は有効な手段と考えるが、市長の見解

を伺う。

市長 電動アシストの有効性は大変に重要だと理解している。子育てしやすいまちを目指すという点、また、カーボンニュートラルにも寄与するという点からも、先行事例を参考にしながら、制度の導入を検討していきたい。

※この他に、デジタル・ガバメント推進についての質問がありました。



ドローンで撮影した美しいはげ山
(提供：逗子ドローンクラブ)



ソフトとハードの充実で住みやすいまちづくり

市政クラブ 高野 毅 議員

地区防災拠点を設置地域の団体が連携！！

問 地区防災拠点の設置に向けた取組は、地域の自主防災組織、避難所運営委員会、自治会、町内会、住民自治協議会と連携し、行政主導で進めるべきと考えるが、各地域で活動する団体との連携体制の構築方法を伺う。

市長 昨年度から、各小学校区で地域団体と連携して防災訓練を実施するなど、連携強化に取り組んでいる。また、今秋の



地域と連携し防災力を強化

久木小学校区の防災訓練においては、地区防災拠点の活動訓練を新たに実施する。このような活動をモデルケースとして、各地域で取り組んでいきたい。

キャリア発達を促す児童生徒に個別支援

問 子供達が自分らしい生き方を実現する力を養うためのキャリア教育には、キャリアアカウンセリングが有効とされているが、本市において行われているのか。また、経験の不足している教員に対する研修を拡充する考えはあるのか。

教育長 小中学校において教育活動全般にキャリア教育を実施しており、児童・生徒のキャリア発達を促す支援を充実させていく。また、効果的にキャリア教育が行われていくよう、研修計画を検

討していく。

対策を強化して放置ごみを撲滅！！

問 4年ぶりに逗子海岸花火大会が開催され、来場者は、音楽と花火を楽しんだが、一方で、来場者による放置ごみが課題であった。海岸・街中・商店街のごみの放置対策を強化すべきと考えるがいかがか。

市長 プログラムや場内アナウンスでごみの持ち帰りを呼びかけているが、来場者が多いため、ゼロにすることは難しい。呼び掛けを継続することともに、次回開催時は、臨時の回収スポットを設けるなど、対策を講じていきたい。

※この他に、DXについて、ワンストップサービスについての質問がありました。



ウィズコロナ・今後の逗子市の市政運営について問う!!

自民党逗子市議員 桐ヶ谷 一孝 議員

賑わいの創出へ！更なる観光地の発展へ

問 JR逗子駅前の二つのビルの開発計画を契機として、市の玄関口、顔にもなり得る場所に観光協会事務所を移転し、更なる観光地逗子市へと発展、進化をさせる考えはないか。

市民協働部長 駅前に観光案内窓口を設置するためには、賃料等の資金面で難しい状況にある。逗子観光推進の会の協力を得て、土日祝日にJR逗子駅前で街頭案内を行っており、そうした取組を継続しつつ、デジタル技術を活用した案内方法についても調査研究を進めていきたい。

小坪漁港が海業振興モデル地区に選定！

問 逗子市のダイヤの原石であると言いつつ、小坪地域が海業振興モ

デル地区に選定された。振興に関してリビエラ逗子マリーナとの協働はマストであると考えているが、現状を踏まえた今後の在り方、未来の展望について伺う。

市長 市内唯一の地場産業である漁業が営まれる古い歴史の漁港とマリーナが一体となった小坪漁港周辺一帯を含めた小坪海浜地域の活性化は、海業振興モデル地区の選定を契機に大きく進展し、小坪地域全体の魅力をますます高めるものと期待している。漁港内にマリーナが存在していることや、漁港とリゾート地が共存しているギャップ感など、他では例を見ない小坪特有の環境がある。小坪漁港周辺一帯の新しい魅力の創出と、暮らしに必要な移動手段の確保の検討など住宅地域の居住環境の向上を図りなが

ら、一層魅力ある地域にしていきたいと考えている。

市民の尊い命を守る安心安全対策を問う

問 安心・安全の最後の砦である消防体制の強化は重要であるが、高規格救急車は予定どおり導入されるのか進捗状況を伺う。

消防長 令和5年度内に納入されるよう進めている。



小坪が更に輝く地域へ!!



香りが生み出す体調不良「香害」柔軟剤の適切な使用を促せ!

公明党逗子市議員 田幡 智子 議員

不登校児童生徒に経済的な支援を求める

問 不登校児童生徒に多様な学習機会を確保するための経済的な支援として、フリースクール利用の家庭等への補助金を交付している自治体があるが、逗子市において、この補助金制度に取り組んで、不登校児童生徒を持つ家庭の支援をする考えはあるか。

教育長 支援制度については、丁寧な調査を行う上で制度設計する必要がある、時間をかけて検討していく課題と考えている。まずは、地域にあるフリースクール等との連携の質を高めていくことを優先し進めていく。

遠方から見える津波避難誘導標識が有効

問 津波避難誘導標識について、避難の際に足元にある路面シートに気付

かない、また、市外からの来訪者が避難路を知らない恐れがあるため、遠くから認識できるように信号機ほどの高さのある避難誘導標識の設置を検討すべきと考えるがいかがか。

経営企画部担当部長 津波からの避難においては、速やかに海から離れ、高台へ避難することが重要であり、高台への方向や、市街地への方向だけを示すシンプルかつ目立つ場所に標識を設置することは有効であると考えている。近隣市等の状況を調査し、

先進事例を研究していきたい。

香りブームに比例し増加する相談件数

問 香害・化学物質過敏症に悩まされる人が増える中、消費生活センターの相談と対応の現状を伺う。

市民協働部長 全国的に相談件数が増えている状況であり、市としても、ポスター掲示やチラシの配架、ホームページでの紹介など、周知に努めている。また、消費生活センターにおいては、悩む方の声を聞き、寄り添いながら配慮して相談を受けていきたいと考えている。



遠い場所からでも確認できる避難誘導標識

※この他に、子供のスポーツ機会についての質問がありました。

一般質問の要旨



**関東大震災から100年
多様化する自然災害に備える**
自民党逗子市議団 丸山 治章 議員

災害時に発生する 大量のごみ処理は？

問 5月から6月にかけての豪雨により大きな被害があった他府県では、災害ごみが大量に発生し、自治体が大変苦労している。以前の質問で、本市の災害ごみ置場は検討中とのことだったが、その後どうなったのか。

環境都市部長 令和3年に災害廃棄物処理計画を策定しており、地震、風水害の災害廃棄物仮置場の候補地を9か所選定した。選定にあたっては、接道の状況、土地の形状、面積、周辺環境等、適切な機能を備えているかを検討し決定した。

避難所に女性職員の 派遣を！

問 一般的に避難所では女性特有の困り事が発生する。そのため、各避難所に必ず女性職員を1名

配置すべきと考えるが、本市の考え方を伺う。

経営企画部担当部長 風水害時の早期避難所における職員の配置は各部署から計72人の職員を選出し、あらかじめ担当する避難所と班を指定しているが、特段、女性職員配置の考えは示していないかった。改めて確認したところ、女性職員がいない班が2班あるため、至急体制を改善したい。

災害時協定は実際に 機能するのか？

問 東日本大震災以降、本市は多くの災害時協定を結んできたが、10年以上前に締結された協定もある。災害時協定の現状と他の自治体との相互応援協定について伺う。

経営企画部担当部長 現在約110件の協定を締結しており、内容も多岐にわたっている。協定の期間

は設けていないため、今も継続しているものと認識しており、締結先に異動があった場合は、その都度内容の見直しを行っていく。また、自治体との相互応援については、近隣市町と県外では渋川市と締結している。

※この他に、子供たちの安全対策、県有地、スポーツの振興と逗子の歴史についての質問がありました。



妊産婦・乳児専用避難所となった聖和学校



**7000坪の草原と森の広場
小坪「はげ山」の存続を！**
無会派 松本 寛 議員

大崎公園を上回る広 さ・失うダメージは

問 県有地「はげ山」の売却方針に多くの意見や不安が寄せられている。「周辺地域に公園が著しく少なく、この広場を失って健全な住環境は保てない」「40年間親しまれてきた広場は売却より開放を」「豊かな自然と防災機能を有す広場は行政財産として維持すべき」「県による広場の評価額は2.3億円。市のみどり基金4.5億円で買取りを」「県の評価額を坪単価に換算すると3万5000円足らず。民間への無責任な投げ売りは周辺の地価に悪影響を及ぼしかねない」「近くの森で遊び草原で寝転んだ幸せの原風景を次世代につなげたい」以上、誠にもっともな意見ばかりだ。「はげ山」の総面積2.3haとは、大崎公園2.1haや蘆花記念

公園2.5haに相当する。この富士と大海を臨む近隣公園クラスの公有地を失えば、地域へのダメージは計り知れない。

市長 地域の気持ちは理解するところでもある。一方で県有地は県民全ての共有財産でもあり全県的な視点から県が判断したものと理解している。

署名5000筆の願い・未来への英断を
問 まちの魅力を最大化し未来に備えるため、市は「はげ山」の可能性を手放さないでほしい。それが5000筆を超える署名の趣旨ではないか。

環境都市部長 市の計画では県有地である同地を特段の位置付けにはしておらず、既存の公園をもって魅力の

最大化に資するよう取り組みたい。

池子の森も、小坪の森も等しく大切
問 池子の森の維持管理費用は毎年1100万円。一方「はげ山」はこれまで最大で700万円であり、来年度からの森林環境税の譲与分で十分賄える。現状の草原と森を温存すべく、改めて検証し、県との再協議に臨むべきだ。

市長 何度も申し上げるが、県が普通財産を処分するの方針に対し、市は経緯を見守る所存だ。



原っぱと森、守ってください！のぼり旗30本と「はげ山」入口



市民が安全・安心して 暮らせる心豊かなまちづくり

市政クラブ 勾坂 祐二 議員

高齢者の移動手段の 確保へ向けて

問 市長は公約に高齢者の移動手段の確保を掲げ、今任期中に実証実験を行い、めどをつけたとのことだが、現在の検討状況はいかがか。

市長 これまで実証実験を二度実施しているが、利用者数の伸び悩み等により本格運行には至らなかった。行政が需要を予測し、仕組みを考えても、移動ニーズは様々であり、その地域の住民同士が必要な移動手段を話し合い、地域全体で育てていくという姿勢が重要と考えている。地域からの発意を機会があることをお願いしている。

東逗子駅前用地活用 事業の進捗状況は

問 昨年度、基本構想が示され、住民説明会が行われた。今年度は基本計

画の策定を予定しているとのことだが、どのようなスケジュールで進めていくのか。

市長 基本計画は設計施工の根幹となることから、重要な段階と考えている。5月から7月にかけて、集約予定の公共施設に係る審議会等への説明と意見聴取をし、その後ワークショップを行い、来年1月以降に市民説明会、パブリックコメントを予定している。

消防施設の老朽化 充実した環境整備を

問 北分署、小坪分署の老朽化が進んでいる。いつ起こるか分からない火災や災害に備え、消防職員にとってよりよい施設環境でなければならぬが、老朽化対策や設備等の整備方針について伺う。

老朽化が進む
消防施設



※この他に、行財政運営と学校教育についての質問がありました。

公立小中学校教員の 働き方改革について

問 教員は保護者から様々な相談を受けているが、スクールソーシャルワーカー等を増員することで、教員の負担軽減につながるのではないかと。また、企業等の外部の力を借りて学校内の働き方を改善していく考えはないか。

教育長 スクールソーシャルワーカー等の増員は、教員の働き方改革に、直結するものではないが、児童生徒の困り感に早い段階で対応することで、結果として教員の負担軽減につながるものと考えている。また、学校関係者とは異なる視点でのアプローチも挑戦する価値はあるため、視野を広げて、取り組んでいきたい。

不登校の子供がいる 家庭支援について

問 不登校の子供がいる

子どもが輝く逗子に

市政クラブ 桑原 泰恵 議員

家庭では、フリースクール代等の支出の増や、保護者が働き方を変えなければいけない実態があり、保護者を支える体制も必要である。市の対応はいかがか。

教育長 経済面での支援は、丁寧な調査が必要であり、時間をかけて検討する課題である。まずは地域のフリースクール等との連携の質を高めていくことを進めていきたい。

広報・広聴戦略に ついて

問 子育てポータルサイト「えがお」やメールマ

ガジン「ずし子育てわくわくメール」は大きな変更がなく、10年が経過している。特に転入してきた子育て世代からは、情報が見つけにくく、ツールとしても古いといった声があるが、どのように考えているか。

教育部担当部長 情報の更新が少なくなってきたおり、課題は認識している。メールマガジンの年齢区分の情報の見直しや、「えがおレポーター」等の募集を行う等、見直しを行うことで、より分かりやすく情報を発信していきたい。



※この他に、脱炭素社会の実現に向けた「行動変容」についての質問がありました。

みんなで磯焼け対策

令和4年度 議長交際費・政務活動費報告

令和4年度 政務活動費収支報告 (単位:円)

①交付金額	4,020,000
②支出金額	3,195,205
調査研究費	73,919
研修費	45,460
広報・広聴費	1,972,126
要請・陳情活動費	390
会議費	3,100
資料作成費	10,907
資料購入費	173,615
事務所費	915,688
③議員・会派負担額	130,062
残額 (返還金額) =①－ (②－③)	954,857

令和4年度議長交際費及び政務活動費の支出状況についてお知らせします。

議長交際費は、議長の交際に係る経費で、令和4年度中の支出の状況は、下表の議長交際費使途別一覧のとおりです。

政務活動費は、市議会議員に必要な経費の一部として議員又は会派に交付する交付金で、議員1人当たり月額2万円が交付されました。令和4年度中の支出の状況は、左表の政務活動費収支報告のとおりです。

なお、議員又は会派別の収支については、政務活動費収支報告一覧(下段の表)のとおりです。

令和4年度 議長交際費使途別一覧

区 分	件数 (件)	金額 (円)
总会等の祝金・参加会費等	10	70,700
戦没者追悼式供花代	1	10,000
合 計	11	80,700

令和4年度 政務活動費収支報告一覧

(単位:円)

議員名 又は会派名		加藤 秀子	橋爪 明子	佐藤 恵子	※長島 一由	平野 和之	松本 寛	眞下 政次	丸山 治章	桐ヶ谷一孝	八木野太郎	菊池 俊一	公明党 逗子市議団 (田幡 智子 江淵真紀子)	市政クラブ (高野 毅 匂坂 祐二 服部 誠 桑原 泰恵)
収入	交付金	240,000	240,000	240,000	180,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	480,000	960,000
支出	調査研究費	44,263	0	0	0	0	0	338	0	338	28,980	0	0	0
	研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45,460
	広報・広聴費	195,641	0	129,657	97,722	307,780	102,096	0	61,447	0	205,492	0	152,460	719,831
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	390	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	3,100	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	10,747	0	0	0	0	0	160	0	0	0	0	0
	資料購入費	3,740	4,622	226	11,890	0	30,220	18,370	36,110	0	0	0	42,175	26,262
	事務所費	0	165,000	151,004	13,964	0	105,109	0	32,535	120,800	11,206	251,548	11,762	52,760
	合 計	243,644	180,369	280,887	123,576	307,780	240,525	18,708	130,642	121,138	245,678	251,548	206,397	844,313
返還金額		0	59,631	0	56,424	0	0	221,292	109,358	118,862	0	0	273,603	115,687

備考 議員名及び会派名は令和5年3月31日現在 ※長島議員は令和4年12月4日付で失職しています。

今定例会で可決した意見書を関係機関に送付しました

特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書

文部科学省の資料によると、特別支援教育を受ける児童生徒は年々増加している。平成24年度から令和4年度で、特別支援教育を受ける児童生徒数は約2倍に増加しており、特別支援学校の児童生徒数は約1.2倍、特別支援学級の児童生徒数は約2.1倍、通級による指導を受けている児童生徒数は約2.3倍に増え、教育現場では新たな特別支援教育体制の整備が必要になっている。

このような状況に適切に対処するためには、特別支援学校・学級への専門的な知識や経験を持った教員等の増員が必要不可欠である。また今日、共生社会の形成に向けて、障害者の権利に関する条約に基づき、子供たちの多様性を尊重するインクルーシブ教育システムの構築が求められており、そのためにも我が国の特別支援教育の更なる拡充が必要である。

よって、逗子市議会は国に対し、医療的ケアを含めた特別支援教育が必要な子供の増加や、様々な障がいのある児童生徒に的確に対応した教育を実現するために、特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置に向けて、次のとおり財政措置を含めた特段の措置を講じることを要望する。

- 1 障がいのある児童生徒に対し、食事、排泄、教室移動の補助等学校における日常生活動作の介助を行ったり、発達障がいの児童生徒に対し、学習活動上のサポート等を行う特別支援教育支援員の適切な配置への支援をすること
- 2 保護者や関係機関に対する学校の窓口として、また、学校内の関係者や福祉・医療等の関係機関との連絡調整の役割を担い、子供たちのニーズに合わせた支援をサポートする特別支援教育コーディネーターの適

切な配置への支援をすること

- 3 医療的ケアが必要な子供や、障がいのある子供への支援を的確に実施するために、看護師、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士等の専門家の必要に応じた適切な配置への支援をすること
- 4 各学校でインクルーシブ教育を一体的に進めるために、担当の教員だけでなく学校長等に対する指導や研修等を実施し、校内全体での取組を促進するために、特別支援学校のセンターの機能強化への支援をすること
- 5 GIGAスクール構想により整備された1人1台の端末を、特別支援学級や特別支援学校において、授業はもとより、個々の特性や教育的ニーズに応じた支援ツールとして有効に活用するための特別支援教育デジタル支援員（仮称）の配置への支援をすること
- 6 特別支援学校教員の特別支援学校教諭免許状の取得率は87.2%となっており、特別支援学校における教育の質の向上の観点から、教職員への取得支援の強化や、大学等における特別支援教育に関する科目の修得促進等、教職員に対する特別支援学校教諭免許状の取得を支援し、併せて、特別免許状についても強力に推進すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年6月23日

逗子市議会

生物多様性の保全・ネイチャーポジティブの対策の強化を求める意見書

地球上には無数の生態系が存在し、地球上の様々な環境を安定させる基盤となっており、我々の生活は生物多様性・自然資本なしに成り立たない。しかしながら、近年、人類史上これまでにない速度で生物多様性が失われているが、生物多様性の損失はイメージがしづらく、その危機意識が広く共有されているとは言えない。

このような状況を受けて、1993年に生物の多様性に関する条約が発効し、2022年12月には、同条約の第15回目の締約国会議COP15がカナダ・モントリオールで開催され、2030年までに生物多様性を回復軌道に乗せる、ネイチャーポジティブという新たな世界目標が採択された。今こそ、私たちの経済社会活動の基盤となっている生物多様性を持続可能なものにしていくために、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復軌道に乗せるネイチャーポジティブの実現が不可欠である。

我が国でも、この新目標に対応した生物多様性国家戦略を策定し、全庁が協力して国際社会をリードするネイチャーポジティブの実現に向けた取組を進めようとしているが、その主体は地域であり地方自治体であるとする。

よって、逗子市議会は国に対し、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復軌道に乗せるネイチャーポジティブの実現に向け、次のとおり地方自治体や地域のNPO等への支援を強化することを強く要望する。

- 1 気候変動の影響と生物多様性の損失は密接に関連しており、その両

方に対して投資を進めていくことが重要である。脱炭素関連の予算が増額される一方で、生物多様性関連の予算についても必要な額を確保し、生物多様性に対する社会全体の認識を高めていくこと

- 2 2030年までに陸と海の30%を保全するサーティー・バイ・サーティーの実現に向けて、国立公園・国定公園等の保護地域の拡張や、OECMの認定を推進する等、地域との連携のもと取組を加速化すること
- 3 全ての子供たちが自然に触れ合う機会を創出するため、環境教育や自然保護を推進する地域の人材育成を支援すること。また、NGO等とも連携し、学校や園庭の敷地内に設けられた生き物の暮らしを支える場所である学校・園庭ビオトープの普及を促進すること
- 4 廃棄物や汚染を削減し、製品と資源の循環利用を促すサーキュラーエコノミーは、脱炭素や生物多様性と並ぶ環境政策の三本柱の一つであり、これらは互いに親和性が高いと認識している。そのため、地域におけるサーキュラーエコノミー分野におけるバイオマスの持続可能性、製品のライフサイクル全般での環境負荷低減等の取組を支援すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年6月23日

逗子市議会

議会傍聴のご案内

● 本会議の傍聴

・ 定員 一般席 43人
車椅子席 5人

● 常任委員会・議会運営委員会・議会編集委員会の傍聴

・ 定員 12人
(全員協議会室で開催する場合25人)

● 特別委員会の傍聴

・ 定員 15人
(予算特別委員会は12人)

● 全員協議会の傍聴

・ 定員 8人

● 受付時間

・ 午前9時から9時45分まで
(本会議・各委員会とも同じ)

● 傍聴の手続き

会議の傍聴を希望する方は、本人が本会議、委員会、全員協議会の開かれる当日、受付時間内に議会事務局（市役所4階）前の受付票に氏名を記入してください。なお、午前9時45分の受付終了時に傍聴希望者が定員を超えていた場合は、抽せんとなります。詳しいことは、議会事務局へお問い合わせください。

内線405

